

製品名: GRK 4 ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab11775

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:20000-1:40000

分子量

抗原情報

遺伝子名	GRK4
別名	GRK4; GPRK2L; GPRK4; G protein-coupled receptor kinase 4; G protein-coupled receptor kinase GRK4; IT11
遺伝子 ID	2868.0
SwissProt ID	P32298
免疫原	GRK 4 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 10-90

背景

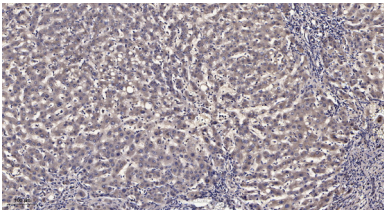
この遺伝子は、Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリーのGアニンヌクレオチド結合タンパク質（Gタンパク質）共役受容体キナーゼ

サブファミリーのメンバーをコードしています。このタンパク質は、Gタンパク質共役受容体の活性型をリン酸化することで、その不活性化を開始します。この遺伝子は、遺伝性高血圧と後天性高血圧の両方に関連しています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2013年11月]、触媒活性: ATP + [Gタンパク質共役受容体] = ADP + [Gタンパク質共役受容体] リン酸。機能: Gタンパク質共役受容体の活性型を特異的にリン酸化します。GRK4- α はロドプシンをリン酸化することができ、その活性はカルモジュリンによって阻害されます。他の3つのアイソフォームはロドプシンをリン酸化せず、カルモジュリンと相互作用しません。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。AGC Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。GPRK サブファミリー。類似性: AGC キナーゼ C 末端ドメインを1つ含む。類似性: タンパク質キナーゼドメインを1つ含む。類似性: RGS ドメインを1つ含む。組織特異性: 精巣、および脳皮質や線条体などの他の組織にも、程度は低い存在します。、

研究分野

ケモカイン;エンドサイトーシス;

画像データ



パラフィン包埋ヒト肝癌の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°Cで一晩)。2、抗原賦活化には Tris-EDTA、pH9.0 を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、45 分)。